

赤城の麓から、恵の一滴

本市産のサツマイモ「コガネセンガン」から醸造した本格芋焼酎「赤城の恵」が6月11日(木)に、販売開始となります。今回は「赤城の恵」販売に至るまでの経緯取材しました。

担当は市民編集委員杉崎・高橋。

問い合わせは 農林課 ☎898-5841

市民が作る
市民編集
のページ Vol.77



赤城の恵

「〇前橋産」黄金千貫使用
本格焼酎
芋

誕生

前橋市
推奨品

遊休農地解消の一環として

本市では近年、遊休農地が増加傾向にありました。そこで、遊休農地の解消と有効活用を推進するため、平成20年より「遊休農地解消作物モデル事業」を始めました。その一環として栽培が比較的簡単で、作業経費がほかの作物より掛からない加工用サツマイ

モに注目。サツマイモ生産者、JA前橋市、商工会議所、前橋観光コンベンション協会、酒卸業者、県・市の関係者による「市さつまいも加工研究会」を同年4月に発足させ活動を開始しました。

この研究会はサツマイモの生産から加工品の製造・流通・販売まで民間活力を導入し、農商工が連携して取り組んでいます。

に「恵の雫（しずく）」です。

今後に向けての取り組み

「赤城の恵」を前橋の新ブランドとして展開していきたい。市さつまいも加工研究会は、今後の取り組みとして、農商工連携によって菓子などの加工品の創出についても検討しているそうです。つまみや総菜、加工野菜、そのほかさまざまな試みを計画中とのこと。今後の動向に目が離せません。

コガネセンガンから
「赤城の恵」へ

「赤城の恵」は、赤城山の良質な伏流水をたっぷり吸って育てられた「前橋産サツマイモ」（コガネセンガン）から製造。乙類100%の本格芋焼酎です。コガネセンガンは、でんぷん質が多く、芋焼酎の原料に適しており、九州地方で主に栽培されている品種です。この芋苗を九州から取り寄せ育てました。作付面積63㌥で8・5㍓が収穫でき、そのうち洗浄、下処理が済んだ約7・4㍓を焼酎に充てました。

この「赤城の恵」のネーミングですが、市民に末永く愛される芋焼酎を目指し、同研究会の中で研究・検討を重ね、決められたそうです。「空つ風」「朔太郎の調べ」「厩橋」「雷人」



コガネセンガン

編集後記

最近焼酎を飲まない日々が続いていましたが、今回の「赤城の恵」の販売を機に飲んでみようと思いましたが、初回は約8,000本の販売と少ないため、今回買いそびれると、次回は来年の6月まで待たなければなりません。今回の販売で、多くの人の舌のどに存在感を残せることでしょう。前橋ブランドとして多くの人にお楽しみいただけるよう期待します。

「そうだんべえ」「達磨さんの微笑み」など、16候補の中から選ばれました。（商標登録出願中）

「赤城の恵」販売に向けて

ことしの6月11日(木)の販売に先駆けて、6月9日(火)午後6時30分から商工会議所で市

市の担当者にどのような味なのかと尋ねたところ「熟成期間中、アルコール度数37度の原酒の官能試験を行いました。その時には、ふくよかではのかな甘みのある味と香りが漂いました。万人に愛される飲みやすい芋焼酎に仕上がりました」と笑顔で回答をいただきました。

酒造までの陰で

1,260円（税込み）と手ごろな価格で販売するそうです。本市産のこの芋焼酎を販売する市内の酒卸会社と調整した結果、平成22年度の販売本数を2万4,000本程度と見込むことに。生産者も15人



民参加型のお披露目会（試飲会）が開催されます。

その後、市内の酒販店などを中心に初年度は4合びん（720㍓）入りを約8,000本販売する予定だそうです。この焼酎発売の記事は地元メディアはもとより全国農業新聞や全国版の新聞などでも取り上げられました。

また、酒造会社の製造関係者は「前橋産のコガネセンガンはそのまま食べてもおいしかったが、アルコール発酵も良く、とてもおいしい芋焼酎に仕上がりました」と高い評価をしています。

「赤城の恵」のチラシ・ポスターのぼり旗が掲げられている酒販店などで、小売価格1本

新しく市民編集委員が加わりました

吉田法子さん
（富士見町原之郷）



本市の魅力を再発見し 市民の皆さんへ発信

5月5日、前橋市に仲間入りした旧富士見村在住者の一人として、今回、市民編集委員のメンバーに参加させていただくことになりました。群馬県民の「母なる山」とも言える名峰・赤城山。その山頂からふもとに至るこの地域に眠る「歴史的」「地理的」な財産を掘り起こし、知られざる魅力の再発見を試みたいと思います。また、それぞれの分野で「今」を力強く生きている人や組織の活動などをお伝えすることで、中核市・前橋の発展に少しでも寄与することができればと考えております。温故知新、温「今」知新の心を持ち、さまざまな情報を発信できるよう頑張ります。